



プレミアム

# GI

## REPORT

第11回

# ヤング ダービー

9/18~23 ボートレース桐生

KYODO NEWS CUP 11thヤングダービー

# YOUNG DERBY

優勝戦1周2マーク、関浩哉の差し返し!!



桐生の後輩・大澤風葵に祝福される



## 関浩哉が冷静な2M差し返し! 史上初の大会V2を地元で飾る

今シリーズの下馬評では、地元  
の関浩哉と実績で断トツの羽野直  
也が2強。それを追うのは、5月  
にオールスターを制した定松勇樹  
を筆頭に、既にGI常連となつて  
いる末永和也・新開航・入海馨・  
宮之原輝紀らと目されていた。

エンジン抽選で特注機を引いた  
のは、黒野元基・野中一平・田頭  
虎親・井上忠政ら。ドリーム組の  
宮之原と関にも好機が渡った。

気温30度を超える残暑の中でシ  
リーズは始まった。雷鳴轟く大雨  
も通過して迎えたドリーム戦。宮  
之原がインから後手を踏み、関が  
5コースからまくり差して制した。

予選2・3日目と、F2の選手  
の健闘が光った。小池修平と鈴谷  
一平は得点率でも上位に名を連ね  
た。関がオール2連対で独走し、  
川原祐明・豊田健士郎・澤田尚也  
らが上位を形成。初日にセット  
交換をした末永和也も着を揃えた  
が、2強の一人・羽野やドリーム  
組の佐々木完太はピンチだ。

予選最終日は得点率の順位が大  
きく入れ替わった。1位は関で不  
動だが、最終レースで6号艇で勝  
った畑田汰一が2位。川原・井本  
昌也・佐々木翔斗らの伏兵が内枠  
へ。定松や吉田裕平・前田篤哉ら  
はギリギリで準優に間に合ったが、

## 準優9R

強敵揃いも川原が逃げ切り中穴に					
着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	△	川原 祐明	1	14
2	⑤		澤田 尚也	5	11
3	③	◎	新開 航	3	14
4	②	×	末永 和也	2	15
5	④	○	豊田健士郎	4	12
6	⑥		宮之原輝紀	6	15
2連単 ①-⑤ 1380円 5番人気 逃げ					
3連単 ①-⑤-③ 3670円 14番人気					

## 準優10R

畑田がセンター勢の強襲を受け止める					
着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	畑田 汰一	1	18
2	③	△	佐々木翔斗	3	13
3	④	○	定松 勇樹	4	14
4	⑤	×	吉田 裕平	5	11
5	⑥		藤原 碧生	6	17
6	②		鈴谷 一平	2	21
2連単 ①-③ 360円 1番人気 逃げ					
3連単 ①-③-④ 1180円 1番人気					

## 準優11R

関が難なく逃げてオール2連対で優出					
着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	関 浩哉	1	12
2	②	○	井上 忠政	2	10
3	③		井本 昌也	3	15
4	⑥	×	前田 篤哉	6	11
5	⑤		小池 修平	5	11
6	④	△	入海 馨	4	09
2連単 ①-② 290円 1番人気 逃げ					
3連単 ①-②-③ 770円 1番人気					

## 優勝戦メンバー

予想	艇番	選手名	F・L	モーター		今回成績					
						1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
						コース・スタートタイミング					
◎	◎	① 関 浩哉		◎	◎	★	① 五14	②① 三16-10	②② 四14-14	② 四16	① -12
×	×	② 畑田 汰一	F	○	○	○	④① 二13四08	④ 五06	① -16	③① 三07五05	① -18
△		③ 川原 祐明		◎	◎	○	② 二20	③② 六19三21	① -07	④ 四09	① -14
○	○	④ 井上 忠政		◎	◎	◎	③② 三27四12	③ -11	①② 四07二17	④ 五13	② 二10
	△	⑤ 佐々木翔斗		○	○	◎	① -08	⑤② 二22五11	② 五10	③ 二15	② 三13
		⑥ 澤田 尚也	F	○	○	○	①② -13五12	③ 四12	④ 三11	④④ 二13六12	② 五11

### 展示速報での採点

#### 12R

- 1 関 浩哉 ☆☆☆☆★
- 2 畑田汰一 ☆☆☆
- 3 川原祐明 ☆☆☆☆
- 4 井上忠政 ☆☆☆★
- 5 佐々木翔斗 ☆☆☆☆★
- 6 澤田尚也 ☆☆☆

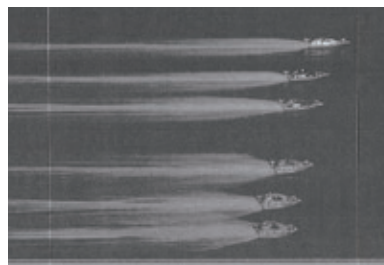
\*当日の携帯・スマホマークルで配信したものです

## 優勝戦結果

着順	艇番	予想	選手名	タイム	進入	ST
1	①	◎	関 浩哉	1.48.3	1	02
2	③		川原 祐明	1.50.0	3	11
3	④	○	井上 忠政	1.50.8	4	14
4	⑤	△	佐々木翔斗	1.53.0	5	18
5	⑥		澤田 尚也	1.53.9	6	19
6	②	×	畑田 汰一	1.55.9	2	09
2連単 ①-③ 660円 3番人気 抜き						
3連単 ①-③-④ 1870円 6番人気						

羽野はまさかの予選落ちとなった。準優はインが3連勝。一番沸かせたのは、10Rであと一步でまくるかという気迫を見せた佐々木だった。そして優勝戦当日は、初日は一変して、1Rの開始時点で23度。夕方にはピットで「肌寒いね」という言葉が飛び交った。急な冷え込みゆえか、7Rでは今シリーズ初のFも出てしまった。

さて優勝戦の6人だが、独走してきた①関に死角はなさそう。3号艇から外は4人もGI初優出というメンバーで、④の井上が2番人気というオッズを示している。展示では、関はリラックスしており万全。③川原は回り足に行き足も上積みされた。④井上の機は力強いが、ただスタート展示の大きなFは少々疑問。⑤佐々木は最高の状態。②畑田と⑥澤田はこの6人の中ではやや劣勢に見えた。そして優勝戦は気温20度と少し



ひんやりとした中で始まった。艇番通りの進入から、イン・関のスタートが早い！ひとり抜けてスリットを通過した。冷え込んで、想定よりもスタートが届いてしまったのか？「瞬ヒヤリとしたが、1マーク手前でスタート「正常」のランプがついてひと安心。」これで圧勝かと思いきや、1マークで③川原が素晴らしいターンを見せた。②畑田の頭を叩いての鋭いまくり差し！これが見事に決まって、BSでは関の内からやりリードして2マークへ。

しかしそこに、第二幕が待っていた。川原は最内から伸びてきた④井上を少し意識したのか、ほんの少し早めにターンマークに寄ってしまった。そこを冷静に見ていたのが関だ。そして走り慣れた地元でもある。狭い所を見事に差し返して先頭へ立ち、川原を突き放した。ヤングダービーは11回目を迎え、まだ2回目の優勝を果たした選手はいなかったが、関が卒業の年に初めて達成。さらに賞金順位も13位と大きく浮上して、グランプリ初出場が見えてきた。

## 戦い終わって—

### 川原祐明(2着)

1Mは完璧でした。でも2Mでターンマークに寄り過ぎた。足もあと少し足りなかったかも…。悔しいです。

### 井上忠政(3着)

技量不足でしたね。スタートはためてしっかり行けたし、足も良かった。また強くなって帰ってきます。

### 佐々木翔斗(4着)

回り過ぎていましたね。スタートしてから劣勢でした。出足系にしたので仕方がないです。

### 澤田尚也(5着)

気温が下がって回り過ぎていました。調整が間に合わなかったですね。展開もなかったです。

### 畑田汰一(6着)

まったく想定外の展開でした。回転も合っていないかった。また来年、頑張ります!

出場権があと2回以上ある現在27歳以下の選手では、畑田汰一が大物の片りんを見せ、豪快ターンを連発して沸かせた。同じく優出を果たした澤田尚也は勢いのある滋賀支部の次期エース候補だ。

来年ラストの「28歳」組では、エース格は既にGI覇者である新開航と入海馨、記念実績で劣らぬ豊田健士郎。この3人は、今節は準優までだったが、来年のV候補とあってよいだろう。そして今年優出した井上忠政は、ダービーでSG初出場も決めており、先の3人に迫っている。そして佐々木翔斗は今節で知名度を大きく上げた。

129期の藤原碧生は準優まで進む



準優組では、定松勇樹や末永和也については説明不要だが、吉田裕平と前田篤哉の愛知両若手も底力を見せた。

さらにもっと若い年代では、今年的最優秀新人最有力の藤原碧生がしっかりと予選を突破したのはさすが。同期で今節最年少の藤田俊祐(22歳)、さらに地元で悔しい思いをした大澤風葵や飛田江己・常住蓮らはまだ23歳。来年は優勝戦線を賑わしてくれるはずだ。

## 最優秀新人候補・藤原碧生が存在感健闘が光った畑田汰一

## 直線の仕上がりが良かった今はとてもホツとしています

まずは逆転での優勝、おめでとうございます。

はい、直線が良かったので、バックでも相手に楽をさせず、差した後も前に行っていましたね。あの足がなかったら、普通はダメだったと思います。

レース前の調整ではどうだったのですか？

展示ではめっちゃくちや乗りづらかったんで、それが心配だったんです。ただ結果からすると、直線に関してはしっかりと調整できていた、ということなんでしょう。

1周1マークは？

ちょっと行き過ぎたかも。やっぱり冷静じゃなかったですね。

同期対決、という形になりましたが。

それはちょっと複雑でしたけど、やっぱり地元なので、もっとしっかりと勝ちたかったです。だから1着で帰ってくるのができて、ホツとしている気持ちの方が大きいんです。

11月に30歳を迎えるので今大会で卒業、そしてこのタイトル2回目の優勝は初めてです。

桐生の開催と決まっていたから、ずっと優勝を意識していました。目標が達成できて本当に良かったです。初めての優勝もこの大会でしたし、2回目の優勝が初めて、というのも印象に残ると思います。

地元の大応援もすごかったです

すね。

いろんな感情がこみ上げてきますね。桐生にこんなたくさんのお客さんが来てくれるのもすごく嬉しいです。他の場ではあまり思わなかった感情でもあります。

賞金ランクの方も13位ぐらいになりました。グランプリも見えてきましたよ。

今年の群馬支部は凄いですね。SGで毒島(誠)さんがまず優勝して、土屋(智則)さんも優勝。自分もこのレースを獲ることができて、だいぶ余裕ができました。

これからの目標は？

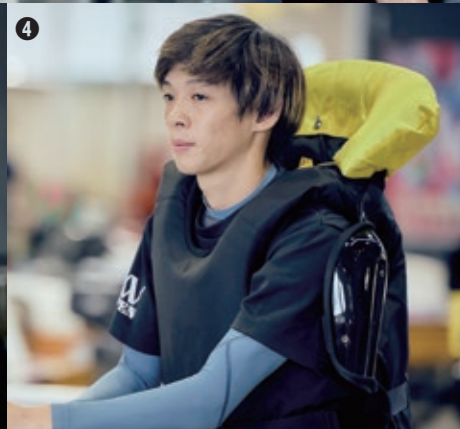
もう少しでグランプリを経験することができそうなので、無駄な事故をしないようにしたいと思います。

ウィニングランで大きな拍手を受ける





① 機力劣勢もテクニックで準優3着まで押し上げた定松勇樹  
 ② 卒業イヤーとなった羽野直也(左)と野中一平  
 ③ 4勝を挙げて大暴れた井本昌也  
 ④ F2でも果敢なレースを見せた小池修平  
 ⑤ 女子では最年長の大豆生田蒼が力走



⑥ 川原祐明は見事なまくり差して優勝に迫った  
 ⑦ 井上忠政は強力機を擁して優出3着  
 ⑧ 予選道中では進入で2回動いた佐々木翔斗  
 ⑨ 勢いのある滋賀支部のホープ・澤田尚也  
 ⑩ 畑田汰は連日、豪快なターで沸かせた

